

大日本絵画

フィギュアモデリング FIGURE MODELING

AZ TO

太刀川カニオ
CANIO TACHIKAWA



ミニチュアフィギュアの製作を
成功に導くパターン別攻略法



フィギュアモデリング
FIGURE MODELING

A TO Z

太刀川カニオ



大日本絵画

太刀川カニオとはどんな人？



イラスト/モリナガ・ヨウ

本書の著者、太刀川カニオは非常に論理的である。しばしばモデラーは感性と感覚が赴くままに製作を行なうが、カニオさんに関してはそうではない。本書をまだ読んでいない読者は、このあとのページをめくる度にその引き出しの多さに驚かされることだろう。それぞれの題材でどうすればよい作品が仕上がるのか、ということをあらゆるアプローチから攻めるモデリングスタイルはほかに例を見ない。生物学的観点や色彩学的観点、さらに造形的視点まで豊富な知識と経験から最適解決策を導き出す、それが太刀川カニオのスタイルだ。そんなカニオさんだが、じつは模型一辺倒の人生を今日まで送ってきたわけではない。いまのカニオさんに至るまでのルーツは、果たしてどのような軌跡だったのだろうか。

1965年川崎市生まれ、現在はドイツ在住。カニオさんの幼少期はプラモデルは文房具店や駄菓子屋にも簡易なものが売られており、物心がついたころからそうしたもので遊ぶ機会は多かった。模型としてプラモデルをきちんと作りはじめたのは小学校3年生のとき。タミヤミリタリーミニチュアシリーズが1年に28ものアイテムを発表した1975年、友人の兄が作っていたキューベルワーゲンのヴィネットに衝撃を受け模型製作をはじめた。その後訪れたスーパーカーブームや『宇宙戦艦ヤマト』のブームなど、小学生当時はあらゆるプラモデルに触れ続けた。そんななか、タミヤの人形改造作品集やシェパードペインの著書に触れたことをきっかけにフィギュアモデリングにのめり込んでいく。しかし、徐々に既製品のキットでは物足りなくなり、フィギュアも戦車も改造、改造……次第にまともに完成しないようになり、模型趣味との距離感も遠くなっていった。

そうこうしているうちに時は過ぎ、カニオ少年は中学生に。部活動ではバスケットボール

The author of this book, Canio Tachikawa, approaches modeling with a distinctly logical mindset. While many modelers rely primarily on intuition, Tachikawa systematically explores how to achieve better results through a wide range of approaches. Drawing on knowledge from biology, color theory, and sculptural principles, he develops optimal solutions for each subject. As readers turn the pages, they will quickly discover the remarkable breadth of his techniques and ideas.

Born in Kawasaki in 1965 and now based in Germany, Tachikawa was introduced to plastic models at a young age. A formative moment came in 1975, when he encountered a vignette featuring a Kübelwagen from Tamiya's Military Miniature series. This sparked a deep interest in modeling, further influenced by figure modeling works and books by pioneers such as Sheperd Paine. Over time, however, his increasing focus on modification and experimentation led him away from completing models, and eventually away from the hobby itself.

During his teenage and adult years, Tachikawa devoted himself to basketball, continuing even after entering the workforce. Though he

部に所属し、高校生、そして社会人になってからもクラブチームに所属。途中で中断する時期もあったが、ドイツに移住するまでバスケットボールにとっぷり浸る。絵を描くことも好きだったため、進学タイミングでは美術系の学校という選択肢もあったが、機械屋で厳しい父親に反対され渋々工業系専門学校へと進学。父と同じ機械屋の道に進むことになったカニオ青年だが、これが天職となり技術者として活躍。機械の本場であるドイツのメーカーからオファーを受け転職、そして36歳のときついにドイツへの移住に至るのである。

ドイツでの生活が落ち着いてきたころ、改めて模型製作を再開、それに伴い美術的な勉強を独学で始める。模型紙へのデビューは2008年、フルスクラッチビルドの1/32 Hep.1101の『月刊モデルグラフィックス』誌への掲載だ。その後も不定期に飛行機作品を発表し、それと並行してフィギュア作品も各誌に掲載し始める。現在はフィギュア原型も多く手がけており、山下しゅんや作品の立体化には定評がある。こうした「ないものをイチから作り出す」というエネルギーは、幼少期の原体験から脈々と受け継がれているものかもしれない。少年時代にはうまくできなかったあれこれを、大人になりさまざまなことを学び実現できるようになったカニオさん。改造ひとつ、塗装ひとつをとってもじつに繊細な作風は周知のことだろう。フィギュアのみならずあらゆる模型に対して真摯に取り組み、そして心から楽しむ。好きこそ物の上手なれ、とはまさにカニオさんのためにあるような言葉である。ヨーロッパという制約の多い環境のなか、さまざまな塗料や手法にチャレンジすることで身につけた数々の引き出し。そこから生み出されるカニオ作品は常に我々を魅了し続ける。本書を通じてその魅力の一端でも読者に伝われば幸いである。

had an interest in art, he pursued a technical education and became a skilled engineer. This path ultimately led him to Germany, where he relocated at the age of 36.

After settling in Germany, he returned to modeling and began studying art independently. He made his magazine debut in 2008 with a full scratch-built 1/32 He P.1101 in Model Graphix. Since then, he has produced both aircraft and figure works, while also gaining recognition as a figure sculptor, particularly for three-dimensional adaptations of Shunya Yamashita's designs.

Tachikawa's work reflects a lifelong drive to create what does not yet exist. Combining technical precision with artistic sensitivity, he approaches every subject with sincerity and enjoyment. The wide range of techniques he has developed—often under the constraints of working in Europe—continues to define his distinctive style.

This book offers a glimpse into that world, showcasing the depth, versatility, and enduring appeal of his modeling.

CONTENTS

- 002 太刀川カニオとはどんな人?
Discovering Canio Tachikawa
- 004 愛用する道具と製作部屋
Favorite tools and workshop
- 006 TOPIC 01 Blending Techniques Using Tamiya Color Enamel Paints
タミヤエナメルを活用したブレンディング
ドイツ歩兵セット(大戦後期) / タミヤ
- 010 TOPIC 02 : Creating See-Through Layered Effects with Enamel Paints
エナメル系塗料の特徴を活かした透け塗装
ドイツ歩兵セット(大戦後期) / タミヤ
- 014 Q&A with Canio Tachikawa
太刀川カニオ 一問一答
- 015 TOPIC 03 : Achieve Box-Art Beauty with Effective Detailing
効果的なディテールアップで
箱絵のような美人に
ソビエト戦車兵 小休止セット / タミヤ
- 020 TOPIC 04 : Making a 'Cute' Female Figure Straight Out of the Box
素組みのままで「可愛い」
女性に仕上げる
ソビエト戦車兵 小休止セット / タミヤ
- 024 太刀川少年が憧れた箱絵の巨匠—
大西将美、人物表現の核心
The Master of Box Art Admired by Young Tachikawa
Masami Onishi: The Essence of Figure Expression
- 026 TOPIC 05 : Layered Painting with Aqueous Hobby Color
水性ホビーカラーを使ったレイヤー塗装
ウクライナ軍 女性兵士 / ICM
- 030 TOPIC 06 : Usage of ACRYSION BASE COLOR
アクリジョンベースカラーの活用
ドイツ 国民突撃隊 1944-1945 / マスターボックス
- 036 TOPIC 07 : Minor modifications & painting
almost entirely with Acrylic Gouache
プチ整形&
ほぼアクリリックガッシュのみで塗る
戦場ジャーナリスト / ICM
- 040 TOPIC 08 : A Contemporary Civilian Build Using Only Water-Based Paints
水性塗料だけで仕上げる現代の一般人
行楽客セット / ミニアート
- 048 拝啓、太刀川カニオ
Dear Canio Tachikawa
- 050 TOPIC 09 : Model Makeover with Emulsion Paints and Sculpting Magic
エマルジョン系塗料と整形術で美人化
WW.II ドイツ軍 Kfz.69 シュビムワーゲン フィギュア3体付属 / イタレリ
- 056 TOPIC 10 : Recreating a Specific Individual Using Citadel Colours
シタデルカラーを駆使した特定人物の再現
WW.II ドイツ軍 クロス・オブ・アイアン 東部戦線1944 / ドラゴン
- 062 TOPIC 11 : Paint a Delta Force operator using custom
(acrylic-based) colors
デルタフォース隊員を
専用色(アクリル系)で仕上げる
アメリカ陸軍 特殊部隊 デルタフォース ソマリア 1993 / ドラゴン
- 068 太刀川カニオの「引き出し」のなかから
From the Drawers of Canio Tachikawa A Selection
- 072 それでも僕らは
「プラモデルのフィギュア」を作りたい。
From MM to Garage Kits,
and Now the 3D Era Yet We Still Choose to Build Plastic Model Figures
- 079 特別寄稿「つつがなきや友がき」
モリナガ・ヨウ
Special Illustration: "Tsutsuganaki ya Tomogaki" by Yoh Morinaga

愛用する道具と製作部屋

フィギュア改造用彫刻ツール

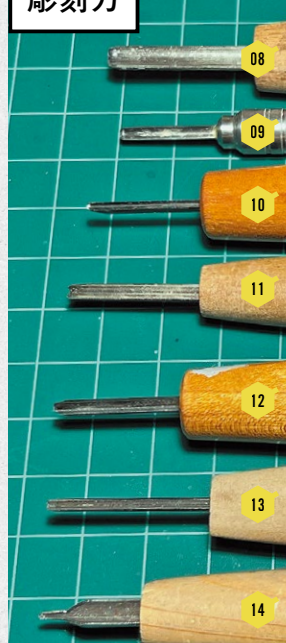


- 01 アートナイフ (オルファ オープン価格)
- 02 工具01と同様の製品の先を丸めて研いだ自作のRナイフ小。
- 03 工具02のR部分をより大きくしたもの。
- 04 マイクロドライバーの先端を研いで焼入れた自作マイクロナイフ。
- 05 06 精密マイクロナイフ (EIGERTOOL オープン価格)
- 07 虫ピンの先端を切って取っ手で掴んだマイクロ目打ち。

作業をしていると「こういう工具があつたらな」と思い立ち、作ってみて増えていくという。凹みを削るRナイフはとくに重宝している工具だ。また、マイクロナイフはマイクロスパチュラとしても活用している。自作工具は、グラインダーやダイヤモンドヤスリで刃を削り、オイルストーンや砥石、耐水ペーパーで刃を研いで自作している。

He often thinks, "I wish I had a tool for this," then makes it himself—his toolkit keeps growing. The R-knife for carving concave areas is especially useful, while a micro knife also serves as a micro spatula. These custom tools are shaped with grinders and diamond files, then sharpened with oil stones, whetstones, and waterproof sandpaper.

彫刻刀



- 08 幅広の丸刀
- 09 カービングナイフU (模型用彫刻刀U) (ハセガワ 税込1430円)
- 10 小マル刀
- 11 工具12より大きい三角刀
- 12 工具18より少し大きい三角刀
- 13 マイクロ三角刀
- 14 市販のマイクロ三角刀の先を更に小さく研いだ自作の極マイクロ三角刀

使えなくなってしまう彫刻刀をグラインダーやダイヤモンドヤスリで削ったり研いだりし、刃先を自分好みにカスタマイズしているものも使っている。プラスチックやバテを削るのには充分だ。

He repurposes worn-out chisels, reshaping and sharpening them with grinders and diamond files to suit his needs. These customized tools are more than sufficient for carving plastic and putty.

スパチュラ



- 15 ツイノックス スクレーパークリーナー ネイルケア (ツヴィリングJ.A.ヘンケルス 税込6903円)
- 16 バテ、造形粘土の造形にヘンケルスの爪手入れ用ヘラをスパチュラとして使用。先端のエッジに肌を傷つけないように極小のRがついていて、それが極小な造形にちょうどいい使い心地。ステンレス製で手入れも簡単。

16 爪楊枝
爪楊枝もバテの造型に便利。先端をそのときの作業に応じて削って万能。

He uses a Henckels cuticle pusher as a spatula for putty and sculpting clay. The tip has a subtle rounded edge that won't damage surfaces, making it ideal for fine detail work. Made of stainless steel, it's also easy to maintain. Toothpicks are another handy tool, with the tips reshaped as needed for various tasks.

マイクロ鋸



- 17 エッチングソーセット (ハセガワ 税込990円)
- 18 職人堅気 HYPER CUT SAW 0.1 PRO-R (シモムラレック 税込3740円)
- 19 職人堅気 HYPER CUT SAW 0.15 ELITE S2 (シモムラレック 税込4180円)

小スケールフィギュアの改造は、切断幅が細くなる極薄刃のノコギリがとても重宝する。改造や造型の際に芯としたアルミや銅線とともに切ることもあるので、軽金属用のほうが使い勝手はよい。

For small-scale figure modifications, an ultra-thin saw blade is indispensable, allowing for very fine cuts. As cuts often include armatures made of aluminum or copper wire, a saw designed for light metals is especially practical.

そのほかのツール



- 20 幅0.2mm BMCタガネ (スジボリ堂 税込2750円)
- 21 幅0.15mm BMCタガネ (スジボリ堂 税込2860円)
- 22 幅0.125mm BMCタガネ (スジボリ堂 税込3960円)
- 飛行機機型のスジボリに使っているが、フィギュアの溝彫りにも役立つ。
- 23 セラカンナ (太刃) (造形村 税込3410円)
- 24 凄! きさげカッター (童友社 税込2200円)

キサゲやセラカンナはおもにパーティングラインの粗取りに使うが、刃が厚いので使い心地がよい。タガネはマイクロナイフと同様に、ディテールアップなどに使うが、幅が一定で溝を角形に彫るのに便利だ。

Scrapers and ceramic planes are mainly used for rough removal of parting lines; their thicker blades give a stable, controlled feel. Chisels, like micro knives, are used for detail work, and their consistent width makes them ideal for cutting clean, square grooves.

ペインターであり原型師である太刀川カニオ。
 数々の魅力溢れるフィギュアを生み出してきた彼は一体
 どんな道具を使い、どんな部屋で作業をしているのだろうか。

A painter and sculptor, Canio Tachikawa has created countless compelling figures. What tools
 does he use, and what kind of workspace does he work in?



塗料



▲塗料は基本的に日本で購入し、各社各種揃えている。赤青黄の三原色や白黒などよく使う色はつねに複数本持つよう気をつけている。

▲Paints are mainly purchased in Japan, with a wide range from various brands. Frequently used colors—such as the primary colors (red, blue, yellow) and black and white—are always kept in multiple bottles.

パレット



▲レイヤー塗りなど、うすめた塗料を出しておく必要があるときは水彩用パレットを使用している。パレットは安売りしているときに数枚まとめて購入。基本的には1日の作業が終わる度に綺麗に洗浄して使う。しかし、時間がないときは別の綺麗なパレットを使い、時間があるときにまとめて洗浄するようにして効率化を図っている。

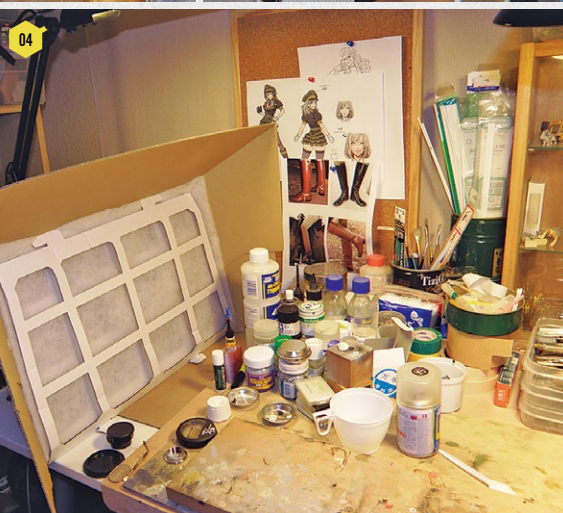
▲For thinned paints and layering, he uses watercolor palettes. He buys several on sale and cleans them daily, or rotates clean ones and washes them all later for efficiency.



▲自作の水パレット。タッパーに薄いスポンジを敷き、使うときにスポンジが頭を出す程度に水を入れ、シリコン加工されているクッキングペーパーを載せて湿らせて使用する。ペーパー上の塗料の乾燥スピードを遅らせ、作業終わりに蓋を締めておけば数日使えることも。ペーパーから流れ出てしまうようなシャバシャバな塗料のパレットとしては不向きだ。

▲A homemade wet palette: a thin sponge in a container, lightly soaked, topped with silicone-coated baking paper. It slows drying and can last for days if sealed, but isn't suitable for very thin paints.

ROOMS



01 広い部屋の片隅を本棚などの家具で区切り、作業部屋にしている。この一角だけ壁紙を貼ったり、作業マットをひくなど汚れ対策も行っている。パソコンではなくiPadを置き、資料などを見る。椅子の脇に実体顕微鏡も常設し、コンパクトながら居心地のよい作業空間。

02 リビングの窓。ドイツ仕様のため、日本の住宅にあるようなスライド式の窓はなく、基本的に画像のようなタイプ。そのため日本で販売されている窓用換気扇などはハマり込めない。また、欧州では油煙が上がるような料理を想定していないためか、キッチンにも日本にあるタイプの換気扇はない。煙が上がるような料理は煙突直結のストーブ一体型オープンなどを使用すること。

03 塗装ブース。交換フィルター付きで外部に排気しないタイプの集塵機を机の上に置いて使用。ドイツ国内での模型関連商品の通販ではエアブラシの塗装ブースは見つけれず、日本で買ったもの。ミストが多くなる場合は窓辺で吹き、缶スプレーはテラスで吹くという。ドイツ人は騒音に厳しいらしく、なるべく音の小さいコンプレッサーを使っているとのこと。

He works in a partitioned corner of a room, with protective coverings and a compact setup using an iPad and a stereomicroscope. German-style windows open rather than slide, so ventilation options differ, and kitchens lack strong exhaust systems. He uses a tabletop spray booth from Japan, spraying near a window or on the terrace as needed, and a quiet compressor to minimize noise.



BLENDING TECHNIQUES USING TAMIYA COLOR ENAMEL PAINTS

タミヤエナメルは扱いに多少クセがある一方、ブレンディングによる滑らかなグラデーション表現が可能である。本作ではタミヤエナメルの特性に注目し、その特性を最大限に活用。弱点を補いながら長所を引き出し、しっとりとした質感と豊かな表情を実現する。

Tamiya enamels can be tricky, but allow smooth blending. This work leverages their strengths while compensating for weaknesses to achieve a rich, subtle finish.



MODELS & PAINTS

TAMIYA
GERMAN INFANTRY SET
(LATE WWII)

TAMIYA COLOR
ENAMEL PAINT

使用キット&塗料



▲ドイツ歩兵セット

(大戦後期)
タミヤ 1/35
インジェクション
プラスチックキット
税込1760円
●タミヤ



▲タミヤカラー (エナメル塗料)

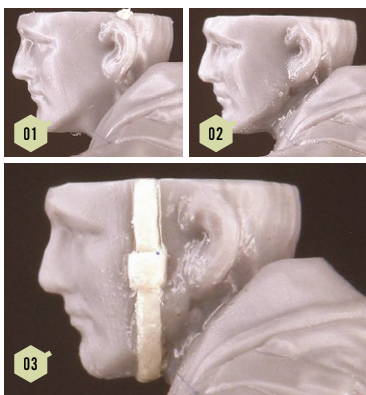
●タミヤ
各税込220円

本作は基本的にタミヤエナメルのみで塗装されている。タミヤエナメルは隠蔽力や乾燥時間、発色などに弱みがあるものの、うすめ液によるブレンディングでグラデーションが簡単に塗れるという大きな長所を持つ。弱点を補いつつ、その長所を活かした使い方することでミニチュアペ

イントには大変有用な塗料のひとつだ。タミヤエナメルでの仕上がりはアクリル系塗料と違い、ツヤ消し塗料でもしっとりとしたツヤがやや残る。対象に寄せたリアルな質感という意味ではマイナスかもしれないが、作品の味としてそれを好むオールドファンも多い塗料なのだ。

Painted primarily with Tamiya enamels. Coverage, drying time, and color strength are somewhat limited, but blending with thinner makes smooth gradients easy to achieve. By working around these drawbacks and maximizing their strengths, they become highly effective for miniature painting.

Unlike acrylics, even flat finishes retain a slight satin sheen. This may be less realistic depending on the subject, but many modelers appreciate it as part of the finish's character.



01キットは3Dスキャンを活用したデジタル造形で、顔の造形も非常によくてきており、基本的に修正の必要はない。02今回はエラ下を彫って顎のラインを出し、首を横に向けたときに目立つ胸鎖乳突筋を感じられるよう首も少し彫っている。顎下も、この後追加する顎紐がやや食い込む感じに削った。

03顎紐をエポキシ系パテで造る。このときバックルはあまり精密に造ろうとしないことがコツだ。かたみや精密感にこだわると、ついつい大きくなり余計に精密感を失いがちだ。造型はおおまかに留め、ディテールは塗り分けてフォローするという。

01 The kit is digitally sculpted using 3D scanning, with an excellent facial likeness. No major corrections are needed. 02 The jawline was refined by carving under the cheek. The neck was also slightly sculpted to suggest the sternocleidomastoid when turned. The underside of the jaw was trimmed to allow for the chin strap added later. 03 The chin strap is made from epoxy putty. Avoid over-detailing the buckle, as it tends to become oversized and lose sharpness. Keep the shape simple and define details through painting.



01顔全体をフラットフレッシュでベタ塗りし、さらに眼球部分をホワイトで塗る。

02油絵具を用いて瞳を描く。この時点で一度半ツヤクリアー(ラッカー系が望ましい)を吹き、うすめ液でのブレンディングで下地が溶け出さないように塗膜を保護しておく。

03ハルレッドとグリーン[※]の混色で作った焦げ茶で、顔の最暗部(最暗色)となる箇所を塗っていく。

04ホワイトとフラットフレッシュの混色でハイライトを塗る。

05最暗色とハイライト色の中間部分にフラットフレッシュと、フラットフレッシュにレッドとレモンイエローを加えたやや濃い肌色を塗る。うすめ液をわずかに含ませた筆で隣り合う色の境界をなぞり、ブレンディングを行ないながらグラデーションを作っていく。

06フラットフレッシュとレッドの混色で、鼻の周りやチーク、^{まぶた}瞼など赤みの差す部分を塗っていく。

01 Base coat the entire face with Flat Flesh, then paint the eyeballs in white.

02 Paint the eyes using oil paints. Seal with a semi-gloss clear coat, preferably lacquer-based, to protect the base from thinner during blending.

03 Apply a dark brown mix of Hull Red and Green to the deepest shadow areas.

04 Add highlights using a mix of White and Flat Flesh.

05 Build mid-tones with Flat Flesh and a slightly richer mix of Flat Flesh, Red, and Lemon Yellow. Blend transitions with a brush lightly dampened with thinner to create smooth gradients.

06 Use a mix of Flat Flesh and Red to add warmth to areas like around the nose, cheeks, and eyelids.

FACE PAINT_02



07工程06で塗った色をブレンディングで馴染ませていく。

08ハルレッドとグリーン[※]の混色で作った焦げ茶で、最暗部を再度塗装。目の上端を濃くすると、西洋人っぽい顔つきになる。

09ハイライトも同様に再度塗り足しブレンディングを行なう。このときグラデーションばかりに集中していると全体のコントラストが失われてしまい、全体がのっぺりした印象になってしまう。最初に塗ったハイライトと最暗部の明暗の幅は最後までキープするのがポイントだ。

10フラットフレッシュにレッドとレモンイエローを加えた濃い肌色で、ゴルゴ線(目頭から頬の中央にかけて伸びる線)などを塗り、馴染ませる。

11ハルレッドとグリーンを混色した焦げ茶で眉を描く。同じ塗料で顎紐のキワや顎下などに暗色を差していく。女性フィギュアを塗るときに比べて暗

色部分の面積を多くすると男性らしくキリッとしたドラマチックな印象に仕上がる。

12フラットフレッシュにブルーを足して髭をうすく描く。顎周りや鼻の下に塗り、ブレンディングで馴染ませる。

13顎紐をフラットブラックで塗装。バックル部分はホワイトとフラットブラックを混ぜたグレーで塗り、ハイライト表現としてホワイトを描き加えて金属感を表現する。その後全体に半ツヤクリアーを塗布しツヤを落ちさせる。

14ヘルメットは、フチが薄く見えるように内側を削る。通気穴は、パーツにあるわずかな突起部分に虫ピンを刺して穴のフチが立つように加工。さらにリベットもプラ板で追加している。

15ジャーマングレイをベースとして塗った状態。この後ホワイトを混ぜた明色や、フラットブラックを混ぜた暗色で立体感をつけるように塗り込んだ。

07 Blend the tones applied in Step 06 to unify the surface. 08 Reapply the darkest tones using a dark brown mix of Hull Red and Green. Darkening the upper eyelid helps create a more Western facial look. 09 Reinforce the highlights and blend again. Focusing too much on smooth gradients can reduce overall contrast and make the face look flat. Keep the original contrast range between highlights and shadows. 10 Use a richer flesh tone made from Flat Flesh with Red and Lemon Yellow to define features such as the nasolabial lines, then blend. 11 Paint the eyebrows with the same dark brown mix of Hull Red and Green. Use it also to deepen shadows around the chin strap and under the jaw. Increasing the dark areas compared to female figures gives a sharper, more masculine look. 12 Add subtle stubble using Flat Flesh mixed with Blue. Apply around the chin and upper lip, then blend. 13 Paint the chin strap with Flat Black. Paint the buckle in a grey mix of White and Flat Black, then add White highlights to suggest metal. Finish with a semi-gloss clear coat to unify the sheen. 14 Thin the helmet edges from the inside for scale effect. Open the vent holes by inserting a pin into the molded bumps, and add rivets from plastic sheet. 15 Base coat the helmet with German Grey. Build volume by adding lighter tones with White and darker tones with Flat Black.



- 01**筆が入りそうな部分ではできるだけ組み立ててしまい、ライフルや右腕などは別に塗り進め後で接着を行なう。塗装は明るい色から順に塗っていく。まずは全体にバフを塗り、説明書や箱絵を参考にしながらレッドブラウンで茶色のパターンを描いていく。
- 02**オリーブグリーンで緑のパターンも描き、全体のパターンを描き終えたところ。
- 03**ハルレッドとフラットブラックを混ぜた焦げ茶の暗色を、ベルトや装備品の際や腕パーツとの隙間に陰色として塗っていく。
- 04**迷彩パターンをきちんと塗り分けていくとともに、迷彩の三色それぞれの明暗もつけていく。暗色から明色まで

- のレシピは欄外を参照してもらいたい。また、最暗色はこの部分でもハルレッドとフラットブラックの混色を用いている。また、ベルトとサスペンダーはフラットブラック、弾薬ケースはハルレッドで下塗りしている。
- 05**迷彩の明暗の塗り分けをさらに進めつつ、裾の縫い目のラインやハトメ部分、ボタンなどのディテールにハルレッドとフラットブラックの混色を塗る。
- 06**ハトメやボタンにフラットブラックとホワイトの混色でハイライトを描き足したら、ここまでの塗膜保護のために半ツヤクリアーを吹いてコートする。併せてツヤを落ち着かせることも狙いのひとつだ。このとき、すでにコート済みの顔部分に重ねて吹き付けられないように注意しておこう。

- 01** Assemble as much as possible where the brush can reach. Leave parts like the rifle and right arm separate for later. Paint from light to dark. Start with a Buff base, then add the brown pattern with Red Brown, using the instructions and box art as reference.
- 02** Add the green pattern with Olive Green, completing the overall camouflage layout.
- 03** Apply a dark brown mix of Hull Red and Flat Black as shadow, working into edges of belts, equipment, and gaps between parts. **04** Refine the camouflage pattern while adding highlights and shadows to each of the three colors. Refer to the color chart for mixes. The darkest tone is a Hull Red and Flat Black mix throughout. Base coat belts and suspenders with Flat Black, and ammo cases with Hull Red.
- 05** Continue developing contrast in the camouflage. Add a Hull Red and Flat Black mix to seams, eyelets, and buttons to define details. **06** Add highlights to eyelets and buttons with a mix of Flat Black and White. Seal with a semi-gloss clear coat to protect the paint and unify the sheen. Avoid spraying over the already finished face.

□ BODY PAINT_02



- 衣装レシピ**
- 黄土色：カーキ（暗色）、バフ（ベース色）、バフ+ホワイト（明色）
 - 茶色：レッドブラウン（暗色）、ブラウン（ベース色）、ブラウン+バフ（明色）
 - 緑色：フラットブラック+オリーブグリーン（暗色）、オリーブグリーン（ベース色）、オリーブグリーン+バフ（明色）

- 07** スプリッターパターンのストライプは、実際のところ塗装表現がむずかしいくらいこまかいもの。本作では太さや間隔をディフォルメして描いている。先の細い面相筆（モデルカステンアイフィニッシャー）を用いてグリーンで線を引いていく。別部分で試し描きし、筆先や塗料の濃さを整えつつ塗っていく。うすめ液で拭き取って線のトリミングも可能だが、取り切れなければ各迷彩色を塗り重ねて調整してもいい。
- 08** ストライプの疎密具合は全体のバランスを見て調整し描いていく。
- 09** 装備品の塗り分けを行なう。ガスマスクケースのストラップはカーキとバフで塗装。ベルトとサスペンダー、小銃弾ポーチはバフ+フラットブラックで塗り、その後フチを残すように上からフラットブラックをうっすら重ねると使い古された黒革の質感が出る。バックルや金具類はフラットブラックとホワイトを混色したグレーをベースに、フラットブラックとホワイトでディテールを描き加えると金属感が出る。マガジンポーチはハルレッドとフラットブラックの混色でディテールをなぞり、暗色の順でハルレッド、ブラウン、ブラウン+ホワイトで塗り分ける。手榴弾の柄はレッドとレモンイエローの混色とハルレッドをまだらに塗り木製っぽさを出す。
- 10** コートの襟、袖、裾をフィールドグレーで塗り、半ツヤクリアーを吹く。
- 11** 手榴弾もフィールドグレーで塗るが、コートと色味を変えるためフィールドグレーにブルーを足した色を基本色として、フラットブラックを混ぜて暗部を、ホワイトを混ぜて明部を塗り分け仕上げる。
- 12** スコップの黒革ケースはベルト類と、柄は手榴弾の柄と同様に塗る。ガスマスクケースも色味を変えるためRLMグレーで塗り、フラットブラックでスミ入れ、RLMグレー+ホワイトのハイライト色で凸部のディテールを浮かび上がらせるように塗っていく。

- 07** Splinter stripes are very fine in reality, so here they are slightly exaggerated. Paint with a fine brush such as the Modelkasten Eye Finisher. Test first to adjust point and brush. Correct with thinner or repaint the base if needed. **08** Adjust stripe density while checking overall balance.
- 09** Paint equipment. Gas mask strap in Khaki and Buff. Belts, suspenders, and ammo pouches in Buff mixed with Flat Black, then lightly overcoat with Flat Black for worn leather. Buckles use a grey mix of Flat Black and White with added detail. Magazine pouches are outlined with a Hull Red and Flat Black mix, then layered from dark to Hull Red, Brown, and Brown with White. Grenade handles use mottled Red, Lemon Yellow, and Hull Red for a wood effect. **10** Paint collar, cuffs, and hem in Field Grey, then apply a semi-gloss clear coat. **11** Paint grenades in Field Grey with added Blue. Use Flat Black for shadows and White for highlights. **12** Point the shovel case like the belts, and the handle like the grenade handle. Paint the gas mask canister in RLM Grey for variation, add a pin wash with Flat Black, and highlight raised details with RLM Grey mixed with White.



13ライフルには鉛板で作ったスリングを追加する。ライフルの柄はレッドとレモンイエローを混ぜた基本色に、ハルレッド+フラットブラックの焦げ茶で木目を描くように筋を描く。金属部分のベースにはフラットブラックを塗る。コートは袖はフィールドグレイ、手はフラットフレッシュ、スリングはハルレッドをそれぞれベースとして塗っておく。塗り分けが終わったら胴体に接着する。

14右手、左手の肌色部分を顔塗りと同じ要領で仕上げる。指や手の内側は赤みを強く、拳の凸部や指の節に白っぽいハイライト色をおくことで自然な感じに仕上がる。

15コートの襟、袖、裾に再度フィールドグレイを上塗りしシムラなく仕上げた後、半ツヤクリヤーを吹いてコートしておく。

16さらにフィールドグレイにホワイトを足したハイライト色を描き足す。ズボンは後期の生地っぽくフィールドグレイにハルレッドを少量足した茶色っぽい色味とし、陰色にはオリーブドラブを足したものを使用。

17色の境界をブレンディングしてグラデーションを整える。レギンスはカーキをベースにオリーブドラブで暗部を、バフで明部をそれぞれ塗り分け立体的に仕上げている。短靴のベースにはフラットブラックを塗る。

18全体に半ツヤクリヤーを吹き付けてツヤを調整する。ここでも顔の部分に半ツヤクリヤーがかからないように注意。

18 Attach a sling made from lead foil. Paint the rifle stock with a Red and Lemon Yellow base, then add wood grain using a dark mix of Hull Red and Flat Black. Base coat metal parts with Flat Black. Paint sleeves in Field Grey, hands in Flat Flesh, and the sling in Hull Red. Assemble once painting is complete. **14** Paint the hands using the same method as the face. Add more red to fingers and palms, and place pale highlights on knuckles and raised areas. **15** Reapply Field Grey to the collar, cuffs, and hem for an even finish, then seal with a semi-gloss clear coat.

16 Add highlights with Field Grey mixed with White. Paint the trousers in a brownish tone by adding Hull Red to Field Grey, and use Olive Drab for shadows.

17 Blend transitions to smooth gradients. Paint leggings with a Khaki base, Olive Drab for shadows, and Buff for highlights. Base coat shoes with Flat Black.

18 Apply a semi-gloss clear coat overall to adjust the sheen. Avoid spraying the face.

□ BODY PAINT_04

19ライフルの金属部分を塗る。銃の金属部分は黒に塗ってからガンメタルでドライブラシを行なうのが定番だったが、ここでも金属色は使わない。黒く塗られたベースの凹部を残すようにジャーマンガレイでディテールを描き、ホワイトでピンポイントにハイライトを入れる。

20短靴はフラットブラックをベースにブラウンやバフを混ぜ、凹部に黒を残すように階調を掛けて塗り重ねていくことでディテールを強調。併せて皮の劣化や汚れも表現するように仕上げた。最後に半ツヤクリヤーを吹いてコートしツヤを落ちさせる。ツヤが消え過ぎてしまったところやツヤ消して白化したところは、うすめ液などを筆先に含ませて擦ることでツヤを戻すことができる。ただしやり過ぎると塗膜が剥けてしまうので注意しよう。

19 Paint the rifle metal parts. Instead of using metallics, keep the base in black and build detail with German Grey, leaving recesses dark. Add sharp highlights with White.

20 Paint the boots over a Flat Black base, mixing in Brown and Buff to build tones while leaving black in recesses. This enhances detail and adds wear and dirt. Finish with a semi-gloss clear coat to unify the sheen. If the surface becomes too flat or cloudy, gently rub with a brush dampened with thinner to restore sheen. Avoid overdoing it, as it can damage the paint.



ほぼ実寸大



CREATING SEE-THROUGH LAYERED EFFECTS WITH ENAMEL PAINTS

MODELS & PAINTS

TAMIYA
GERMAN INFANTRY SET
(LATE WWII)

TAMIYA COLOR
ENAMEL PAINT

GERMAN INFANTRY SET



タミヤエナメルの弱い隠蔽力を活かすことのできる塗装表現はある。本作ではモノトーンの下地を活かした透け塗装を行ない、塗料の濃淡だけで陰影とディテールを引き出す。前項との仕上がりの違いも見比べてみよう。

There are painting techniques that take advantage of the low opacity of Tamiya Enamel. In this example, translucent layers are applied over a monochrome base, bringing out shadows and details using only variations in paint density. Compare it with the previous example to see the difference in finish.

使用キット&塗料



▲ドイツ歩兵セット
(大戦後期)
タミヤ 1/35
インジェクション
プラスチックキット
税込1760円
●タミヤ



▲タミヤカラー
(エナメル塗料)
●タミヤ
各税込220円

本作は、タミヤエナメルの隠蔽力が弱く筆ムラが出やすい、という特徴を活かした簡単仕上げを行なっている。エナメル系うすめ液に強いラッカーやアクリル系塗料を用いて、焦げ茶単色のモノトーン塗装を下地に施す。その上に隠蔽力の弱さを利用して、下地を透過させながらタミヤ

エナメルを塗るという方法を試みた。また、上塗り塗料の濃淡で下地を透かし、これを明暗やディテール強調の表現に使う水彩画的アプローチも行なわれる。前項の作品と同じくタミヤエナメルでの塗装だが、塗り方や仕上がりはまったく異なる。これらの違いをじっくり検証していこう。

This piece uses a simple finish that takes advantage of Tamiya enamels' weak coverage and visible brush texture. A lacquer-based dark brown monotone undercoat is applied first for resistance to enamel thinner. Tamiya enamels are layered over it, allowing the base to show through. Variations in paint density control shadows and enhance detail in a watercolor-like manner. Although also painted with Tamiya enamels, the method and final result differ greatly from the previous example.



01 塗装前の状態。本作でもヘルメットとライフル、右手は塗装した後で接着することとした。それ以外の部分はすべて組み立てて接着している。
02 タミヤアクリルのハルレッドとブラックを混色した暗色でシェード吹きを行なう。全体、おもに陰になる部分に下方から吹き付けるようにしている。マホガニー色のサーフェイサーを塗装しても問題はない。
03 次に上方、光源となる方向からMr. ホワイトサーフェイサー1000を吹く。ホワイトのサーフェイサーは、通常のホワイト塗料と比較して隠蔽力が高いので塗膜をより薄く仕上げることができ、作業性もいい。

01 Before painting. The helmet, rifle, and the right hand covering it are painted separately and attached later. All other parts are fully assembled. **02** Apply a shadow coat using a dark mix of Tamiya acrylic Hull Red and Black. Spray from below, focusing on shadow areas. A mahogany-toned surfacer can also be used. **03** spray Mr. White Surfacer 1000 from above as the light source. It has stronger coverage than regular white paint, allowing a thinner coat and better control.

FACE PAINT



01 下地塗装が終わったモノトーンの状態。陰部にうっすらと暗色が残っているが、真っ白になってしまっても問題はない。
02 ここからはタミヤエナメルで塗装を進めていく。ハルレッドとグリーンを混色で作った焦げ茶で、暗部と目、髪を塗っていく。筆はモデルカステンのアイフィニッシャーを使用している。はみ出したうすめ液を含ませた筆で、塗料をトリミングするように調整する。何度でもやり直せるので、満足のいく描き込みができるまで時間をかけよう。仕上がった後の工程での事故を防ぐために、半ツヤクリアーでコートし塗膜を保護しておくよ。
03 暗色を塗った部分を避けて、全体にうっすらとフラットフレッシュを塗る。塗料をうすめ過ぎると細部に流れ込んでしまうので、希釈具

合いには注意しよう。ひと通り塗った後、鼻の頭、頬骨の上、顎先などの塗料をうすめ液を含ませた筆で部分的に拭き、下地の白色を出すことでハイライトの効果が得られる。
04 フラットフレッシュとレッドの混色で、頬、鼻の下や脇、頬、首などの中間部分を塗る。
05/06 うすめ液を含ませた筆で、先に塗った色との境界をブレンディングしてボカす。
07 顎からエラの下のラインに、ハルレッドとグリーンで作った焦げ茶を塗る。
08 これまでと同様に、うすめ液を含ませた筆で境界をブレンディングしてボカす。
09 ここまでの工程を終えてツヤ消しクリアーを吹いた状態。工程**02**で描き込みを頑張っておくと、かなりリアルに仕上がってくる。

01 Monotone base after priming. Some shadow may remain, but a fully white surface is also fine.
02 Switch to Tamiya enamels. Paint shadows, eyes, and hair with a dark mix of Hull Red and Green using a fine brush such as the Modelkasten Eye Finisher. Clean up with thinner and refine as needed. Seal with a semi-gloss clear coat.
03 Lightly apply Flat Flesh over the surface, avoiding shadow areas. Do not over-thin. Lift paint on raised areas with a thinner-dampened brush to reveal the white base for highlights.
04 Apply a mix of Flat Flesh and Red to mid-tones such as cheeks, nose, eyelids, and neck.
05/06 Blend transitions with a thinner-dampened brush.
07 Apply a dark mix of Hull Red and Green along the jawline and under the cheek.
08 Blend again to soften transitions.
09 After these steps, apply a flat clear coat. Strong detail work in Step 02 improves realism.

ほぼ実寸大





- 01**ツェルトバーンの迷彩はカーキ、レッドブラウン、オリブグリーンの3色を使って塗っていく。
0208 下地のモノトーンの塗装が透けて見える程度の濃度で、各迷彩色の塗料を塗り重ねないように塗り分けていく。モールドの凸凹で色の濃淡ができてしまうのは気にしない。ただし、凸部の筆ムラはうすめ液を含ませた筆で均しておくときれいに仕上がる。
04全体のパターンを描き終えた状態。
05装備品などの塗り分けを進めていく。マガジンポーチはハルレッドで、ベルトとサスペンダー、小銃弾ポーチはフラットブラックで塗装。こちらそれぞれ下地のモノトーン塗装が透けてみえる程度のうすい塗料を重ねるように塗っていく。モールドの凸凹の塗料の溜まり具合いと、下地のモノトーン塗装の透け具合いのでできる色の濃淡で立体感が出てくるところで塗り重ねを止める。ベルトのバックルは下地塗装のままでそれほど見えているので塗らない。
06ガスマスクケースのストラップはカーキで、雑嚢入れはダークイエローを使用。水筒はフェルト部分をレッドブラウン、蓋とベルトをフラットブラックで塗り分ける。

- 01** Paint the Zeltbahn camouflage using Khaki, Red Brown, and Olive Green.
0208 Apply each color thinly so the monotone base remains visible. Avoid overlapping layers. Variations from surface texture are acceptable. Smooth brush marks on raised areas with a thinner-dampened brush.
04 Overall camouflage pattern completed.
05 Paint equipment. Magazine pouches in Hull Red; belts, suspenders, and ammo pouches in Flat Black. Apply thin layers to let the base show through. Stop once depth is achieved from point buildup and the underlying tones. Leave buckles unpainted if they read correctly from the base.
06 Paint the gas mask strap in Khaki and the bread bag in Dark Yellow. Paint the canteen with Red Brown for the felt cover, and Flat Black for the cap and straps.

□ BODY PAINT_02



- 07**ガスマスクケースはRLMグレイ、迷彩のグリーン色と差をつけた色で塗る。スコップはケースを含めてフラットブラック、その柄をレッドとレモンイエローで混色したオレンジで塗装する。
08手榴弾はフィールドグレイにブルーを加えたもので、その柄はスコップと同様にレッドとレモンイエローで作ったオレンジを塗っている。
09手榴弾にデカールを貼りつけて、全体を半ツヤクリアーでコーティングして保護する。ここでの保護が不充分だと、後のドライブラ

- シ工程で迷彩の塗り分けやデカールが剥げてしまうのでしっかりと行なっておく。
10ハルレッドとフラットブラックを混色し、うすめ液でうすめに希釈したものを、ベルト周りやツェルトバーンの重なるところ、陰になる部分の凹部を中心にスミ入れる。
1112 スミ入れた塗料が十分に乾燥したのを確認してから、バフでドライブラシを行なう。ディテールを浮かび上がらせるようにかけていくのがポイントだ。

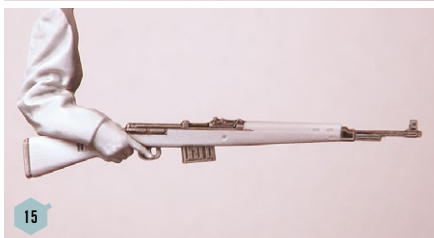
- 07** Paint the gas mask canister in RLM Grey to contrast with the green camouflage. Paint the shovel and case in Flat Black, and the handle in an orange mix of Red and Lemon Yellow. **08** Paint the grenades in Field Grey with added Blue, and the handles in the same Red and Lemon Yellow mix. **09** Apply decals to the grenades, then seal everything with a semi-gloss clear coat. Proper sealing is essential to prevent damage during later dry brushing. **10** Apply a thinned mix of Hull Red and Flat Black as a pin wash, focusing on belts, overlaps in the Zeltbahn, and recessed shadow areas. **11**12 Once fully dry, dry brush with Buff to bring out the details.



13



14



15



16



17

1314 右腕とライフルが一体になったパーツにも、胴体と同様にタミヤアクリルのハルレッドとブラックを混色した暗色とMr. ホワイトサーフェイサー1000で、モノトーン塗装を施す。

15 ライフルの金属部分を、うすく希釈したフラットブラックでスミ入れの要領で色を重ねて塗る。はみ出した部分はうすめ液を含ませた筆や綿棒などで拭き取って修正する。

16 ストック部分をレッドとレモンイエローで混色したオレンジで、手の掌をフラットフレッシュで塗る。

17 前工程での塗り終わり状態を裏から見たところ。うすめた塗料で塗っているため色が透けて、下地のモノトーンの色はほぼそのままの状態で見えているが、これがそのまま陰色となるので上塗りして塗り潰す必要はまったくない。これはほかの部分でも同様だ。

1314 Apply the same monotone base to the right arm and rifle assembly using a dark mix of Tamiya acrylic Hull Red and Black, followed by Mr. White Surfacer 1000. **15** Paint the rifle metal parts by layering thinned Flat Black in a pin wash manner. Clean up excess with a thinner-dampened brush or cotton swab.

16 Paint the stock in an orange mix of Red and Lemon Yellow, and the hand in Flat Flesh. **17** Rear view after painting. The thin layers allow the monotone base to show through, which works as natural shadow, so there is no need to cover it with opaque paint. This applies to other areas as well.

18 右腕と小銃を胴体に取り付け、左手のパーツも接着。隙間は瞬間接着剤で埋めて仕上げています。

19 コートの襟、袖、裾をうすめたフィールドグレイを重ねて塗っていく。モールドの凸凹への塗料の溜まり具合などを見ながら進める。こちらも下地のモノトーン塗装の透けのできる色の濃淡で、立体感が出てきたところで止める。筆ムラが出るとうした表現の邪魔になってしまう。迷彩塗装のときと同様に、うすめ液を含ませた筆で表面を均してやるときれいに仕上がる。

2021 トラウザーはオリーブドラブ、レギンスはカーキ、レギンスのベルトや靴にはフラットブラックを使って、

18 Attach the right arm and rifle to the torso, then glue the left hand. Fill gaps with CA glue and finish.

19 Layer thinned Field Grey on the collar, cuffs, and hem. Let the paint settle into the texture and allow the monotone base to show through to build depth. Stop once sufficient contrast is achieved. Brush marks will disrupt this effect, so smooth the surface with a thinner-dampened brush using light strokes. **20**21 Paint trousers in Olive Drab, leggings in Khaki, and belts and shoes in Flat Black. Apply in thin layers as in Step 07, keeping the underlying shadows visible. **22** Paint the helmet in German Grey, using thinned paint as before. **23** After all painting is complete, apply a flat clear coat to unify the finish. Lightly dry brush the lower areas with Buff to add dirt. If the surface becomes too flat or cloudy, restore sheen by gently rubbing with a thinner-dampened brush. Avoid overdoing it.



18

19



20

21



22



23

工程07と同様にうすめた塗料を塗り重ねて塗装する。下地の陰影を生かすように気を配ろう。

22 ヘルメットはジャーマングレイで塗装。こちらも塗料はうすめに希釈したもので塗っていく。

23 各所の塗り分けが終わったところで、ツヤ消しクリアーを吹いてコートし、ツヤを落ち着かせる。その後、足元にだけバフでドライブラシをかけ、汚しを表現して完成。ツヤが消え過ぎてしまったところや、ツヤ消しで白くなってしまったところは、うすめ液を筆先に含ませて擦ることでツヤを戻すことができる。やり過ぎると塗膜も剥げてしまうので注意する。

Q&A with 太刀川カニオ 一問一答

CANIO TACHIKAWA

フィギュアから日常まで、幅広いテーマについて話を聞いてみた。

From figure modeling to everyday life, we asked him about a wide range of topics.

**フィギュア塗装で
もっとも大事にしていることは？**

What do you value most in figure painting?

まずはいいに塗ること。色を必要以上に濁さないために混色はなるべく確かな少ない色数で済ませること。表現は質感を大事に、感情豊かな表情になるように心がけてます。

Careful application above all. Keep color mixes simple to avoid muddy tones, and focus on texture and expressive, emotional faces.

1日のルーティンは？

Daily routine?

あさ5時~7時半が模型の時間。それから朝食とって仕事へ。17時半に戻って、奥さんとお茶してから家の仕事を一日一善！ 19時~20時に夕食>晩酌とくて後片付けは私の担当。22時就寝

Modeling from 5:00-7:30 AM, then work. Evening tea with my wife, house chores, dinner, drinks, and bed by 10.

1体にかかる平均制作時間は？

Average time per figure?

改造あるなし、迷彩あるなしでだいぶ変わりますが、平均すれば1/35で一日2時間×10日で20時間くらいでしょうか。1/20なら30時間ほど。

It depends, but roughly 20 hours for 1/35 (2 hours × 10 days), and about 30 hours for 1/20.

影響を受けた作家は？

Influences?

モデラーですよ？ やっぱりですね。あの名著のショックがなかったらここまでのめり込んでないかもしれません。

Shepard Paine. Without his book, I might not have gone this far.

**原型製作のモチーフは
どうやって決める？**

How do you choose subjects for sculpting?

キャラクター系もリアル系も絵柄に惚れるかどうかですね。思い入れがないと造るのが大変です。

Whether I fall in love with the design. Without that, it's hard to keep going.

**リアルとデフォルメ、
どちらが好き？**

Realistic or stylized?

どちらというか、リアルに程よいデフォルメが入っているのが好きです。

balance-realism with a touch of stylization.

**色選びで迷ったときの
判断基準は？**

How do you choose colors?

自分のなかでの違和感のある・なしに準じますね。基本的には発色のよい色が好きです。

I go by whether it feels right or not. I generally prefer vivid colors.

よく使う筆の種類は？

Favorite brushes?

ウィンザー&ニュートン・シリーズ7のコリンスキーセーブル筆が好きですが高くて勿体ないので。

ドイツで手に入りやすく価格もそこそこなダヴィンチのコリンスキーセーブル筆がメインですね。ただ筆は同じものでも店頭で穂先を見て選んで買ったほうがよいので通販で買いつらく、大きな街の画材店まで行かないといけないのが悩みですね。

Winsor & Newton Series 7 Kolinsky sable is great, but expensive. I mainly use da Vinci Kolinsky brushes. I prefer buying them in-store to check the tip.

**模型をやってなかったら
何にハマっていたと思う？**

If not modeling?

20年ほど模型から離れた時期がありましたがそのときは料理にハマってました。アウトドア派だったので野外料理や一週間かけて燻製作とかも結構やってました。出張が忙しいときは編み物をやってたりもしましたね。ビジネスホテルでビール飲みながらマフラー編んだりとか。基本的に頭を使いなから手を動かすことが好きなんです。

Cooking. I used to do outdoor cooking and even smoking foods. I've also done knitting. I like working with my hands.

**3ヶ月休みがあったら
何をします？**

What would you do with 3 months off?

お金があったら美味しいものがあるところに旅行へ行きたい。家に居るなら普段作らないような模型や料理の大作に取り組む。または毎日ゴルフの練習とか。いまの日々のルーティーンにゆっくり本を読んだり映画を観たりする時間があまりないのでそんな時間も欲しいでしょうか。

Travel for good food. Or take on big projects—models, cooking, or golf. Also catch up on books and films.

**筆塗りとエアブラシ、
どちら派？**

Brush or airbrush?

ミニチュアフィギュアだと小さくてエアブラシはベース塗りにくくしにしか使えないので基本筆塗りになっちゃいますね。飛行機や戦車はエアブラシを使いますが、敢えて筆塗りとかもやることはあります。道具や方法の選択は、そのとき欲しい仕上がりが次第なので特にこだわりはないです。

For figures, mostly brush. Airbrush is just for base coats. For vehicles, I use both depending on the result I want.

自分の作風をヒトコトで言う？

Your style in one phrase?

立体イラスト風。
Three-dimensional illustration.

スランプの抜け出し方は？

How do you overcome a slump?

スランプって思い通りにならないあつてときに感じるのだと思いますが、そもそも模型ってなかなか思い通りになってくれないものなんで、うまくいかないことを楽しむことが大事だと思います。

Models rarely go exactly as planned. Instead of fighting it, I try to enjoy when things don't go as expected.

**あえてやらないと
決めていることは？**

Something you deliberately avoid?

模型をアートと簡単に呼ばないってことでしょうか。アート=芸術はそんなに簡単なものじゃないと思ってます。アートと言える域まで作品を高めたいとは思いうけど、模型は手工芸でしょう。エンターテインメントであるとは思っています。

I don't casually call models "art." I aim for that level, but I see modeling more as craft-entertainment.

**作業中に聴く
音楽や環境音は？**

Music while working?

作業するときはロックよりクラシック。あるいは懐メロ歌謡曲(笑)。繰り返し観たアニメを音だけ聞いているものもあります。

Classical over rock. Or old Japanese pop. Sometimes I just listen to anime I've seen before.

**上達のために
いちばん効果的な練習は？**

Most effective way you improved?

塗装の練習っていうのはしたことないですかね。小さいころから作るときはつねに本番なんで、その積み重ねで上達したんだと思います。造型に関しては対象のかたちを把握するために造る前にデッサンを描いたり、粘土で大きいサイズで造ってみたりはしますね。

I've never really "practiced" painting. Every build has always been the real thing. For sculpting, I sketch or work in clay beforehand to understand the form.



箱絵の魅力を立体で引き出すには、的確な手の入れ方が重要となる。本作では大幅な改造は行わず、輪郭や髪型、ポーズを整えることで自然な印象へと導く。過不足のないディテールアップにより、表情やプロポーションの説得力を高め、フィギュア本来の魅力を一段引き上げる実践例だ。

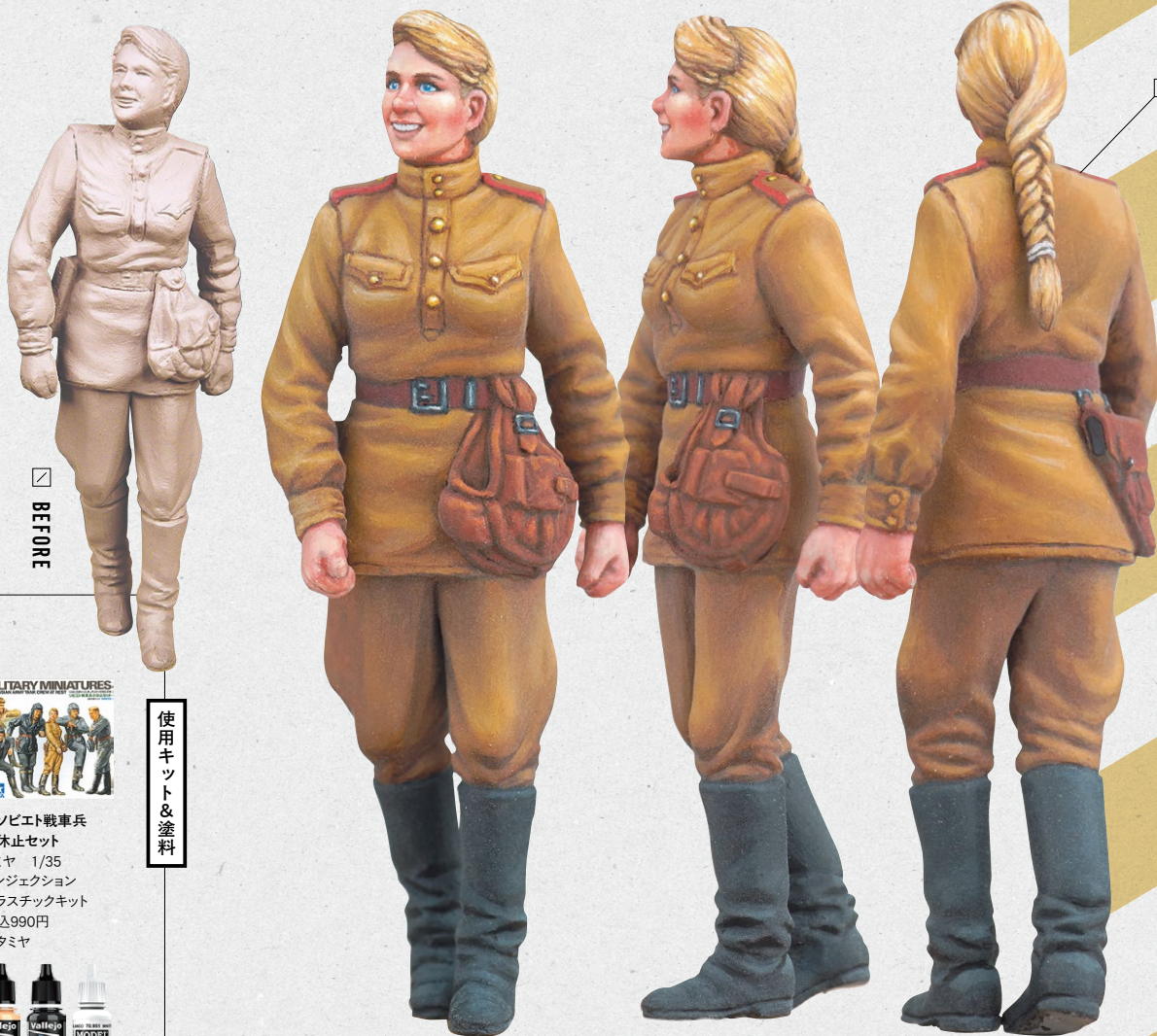
To bring box art appeal into three dimensions, precise adjustments are key. This work avoids major changes, refining contours, hair, and pose for a natural look. Subtle detailing enhances expression and proportion, elevating the figure's appeal.

ACHIEVE BOX-ART BEAUTY WITH EFFECTIVE DETAILING

MODELS & PAINTS

TAMIYA
RUSSIAN ARMY TANK
CREW AT REST

Vallejo MODEL COLOR
Oil paints



☐ BEFORE

使用キット & 塗料



▲ソビエト戦車兵
小休止セット
タミヤ 1/35
インジェクション
プラスチックキット
税込990円
●タミヤ



▲ファレホカラー
税込385円より
●ボークス

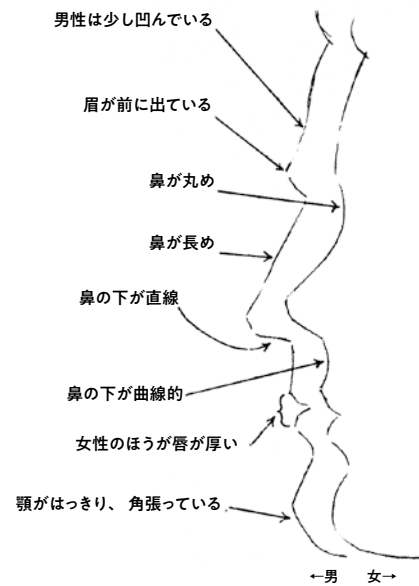
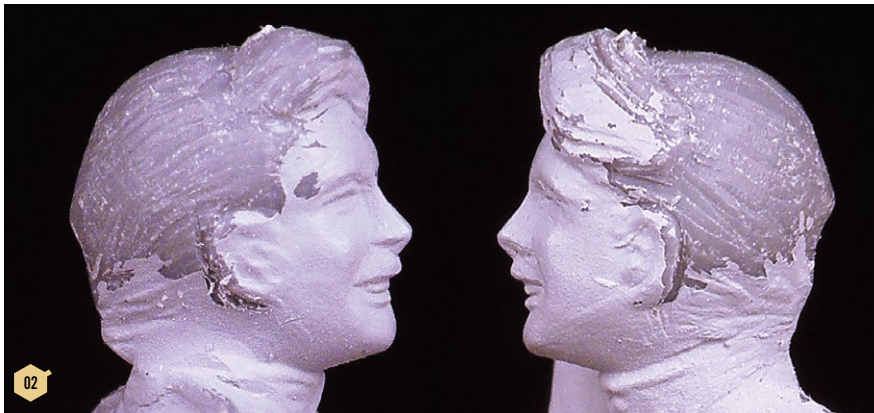
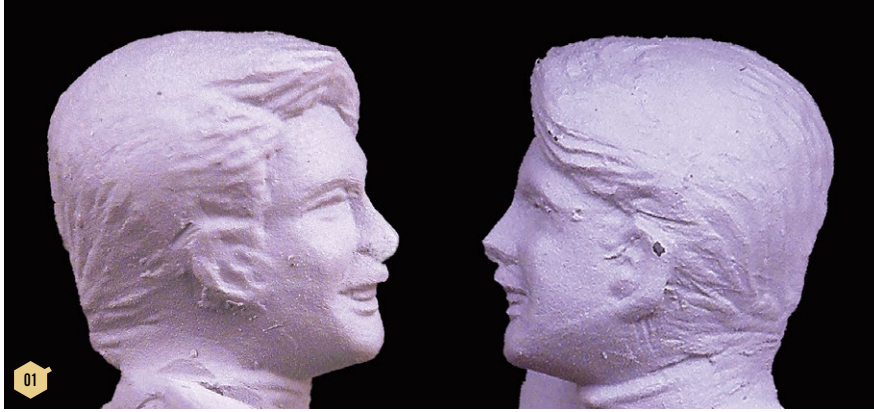


▲油絵具

女性フィギュアのキットでは、しばしば箱絵と造形との差に悩まされることがある。本作ではかの有名なタミヤの「ガッカリ姉ちゃん」を題材に、そんな差を埋める効果的なディテールアップを施して仕上げてもらった。大幅なポージングの変更などは行わず、輪郭や髪型、自然なポージ

ングへの修正のみ。この絶妙な修正により、見違えるほど美人なフィギュアへと生まれ変わった。女性フィギュアのみならず、男性フィギュアにも応用可能なノウハウが詰まったお手本のような作品。そのポイントとアイデアを、ぜひ自身の作品へと取り入れてもらいたい。

Female figure kits often suffer from a gap between box art and the figure's sculpture. This build takes the well-known Tamiya "disappointing sister" and closes that gap with effective detailing. Without major re-posing, the adjustments focus on contours, hair, and more natural posture. These subtle changes transform the figure into a much more refined and attractive result. The techniques apply not only to female figures but to male figures as well. A highly instructive example worth adapting to your own work.



- 01**キットオリジナル状態を左右から見た写真。
02まず髪を改造していく。キットは長い髪を後ろで三つ編みにし、短くした前髪を横に流している髪型。しかし、金型の都合で前後分割しなければならず、やむを得ず盛り上がり上がってしまっている頭頂部から前髪部分を削り出す。最近ではあまり見ないような、かたに辛い髪型ではある。むしろおでこを出したオールバックにしてしまったほうが自然に仕上げやすいだろう。
03顎からエラのラインも金型の都合上なくなってしまう。ここも削り込んで、エラと首を見えるようにする。
04箱絵を見ると横髪も後ろへまとめるほど長い。前髪と右横の髪の分け目を造り、右横のボリュームが小さくなるよう削る。
05キットの顔を正面からよく観察すると、顔の向かって右側がやや潰れて見える。顔は左右シンメトリーに近いほど美形で、より人間らしく見える。比較的造型が整った向かって左側に合わせ、シンメトリーになるよう鼻筋や頬にラッカー系パテを盛り整える。
06スミ入れだけで目が描けるように彫られたV溝型のモールドの上端を、マイクロナイフで上臉に見立てて削ってかたちを出す。
07彫り込んだV字の溝をラッカー系パテで半埋めして、これを瞳とする。
08上記イラストのように、額から鼻、口、顎のラインを整えてやることでより女性らしく見える。
09鼻筋や上唇も整えて、顔の修正が完成。着帽した男性兵士フィギュアであっても、このディテールアップ手順は有効である。

- 01** Kit in original state, shown from both sides.
02 Start with the hair. The kit features a braided style with short bangs swept to the side, but mold constraints create an unnatural volume at the crown. Carve down the top and fringe area. An all-back style may be easier to achieve cleanly. **03** The jawline is softened by mold limitations. Refine it by carving to better define the jaw and neck. **04** Reference the box art. The side hair is long enough to be pulled back. Define the parting and reduce volume on the right side. **05** From the front, the face appears slightly compressed on one side. A more symmetrical face looks more natural. Match the stronger side and adjust the nose and cheeks with lacquer putty. **06** The kit uses V-shaped grooves for the eyes. Shape the upper eyelid by carving the top edge with a micro knife. **07** Partially fill the grooves with lacquer putty to form the eyes. **08** Refine the line from forehead to nose, mouth, and chin for a more feminine look. **09** Finalize adjustments to the nose bridge and upper lip. These techniques also apply to male figures.



01このフィギュアは右肩が持ち上がって見える。じつは右肩だけではなく右胸や、上着の右裾までもがそれに連動するように上に持ち上げられたかたに造形されているようにも見える。今回はポーズを変えず、最低限の修正でより自然な雰囲気にしてみた。まず、右腕パーツを自然な位置になるように、やや下げて胴体に接着する。

02接着した腕の高さに合わせ肩を削り、肩章や、やや持ち上がった右胸、上着の裾をエポキシ系パテで成形する。

03併せて腕や服のシワなどもかたちを整えて完成。

01 The figure appears to have a raised right shoulder, with the right chest and coat hem also lifted. Keep the pose and correct it minimally for a more natural look. Lower the right arm slightly and attach it to the torso.

02 Carve the shoulder to match the new arm height, then rebuild the shoulder board, raised chest, and coat hem with epoxy putty.

03 Refine the folds of the arm and clothing to complete the adjustment.



01後頭部の髪の毛の部分は、キットのままではウルフカットの後ろ髪を長く伸ばして三つ編みにしたようになってしまっている。ここも修正を加えていく。

02 03後頭部の生え際から三つ編み

部分にかけてエポキシ系パテを盛り付けて、自然な三つ編みになるよう修正する。横からや後ろから確認して自然に見えるよう気をつけよう。

01 The back hair appears like a wolf cut extended into a braid. This area needs correction.

02 03 Apply epoxy putty from the hairline to the braid and reshape it into a more natural form. Check from the side and rear to ensure it looks balanced.

☑ BODY MODIFY_02



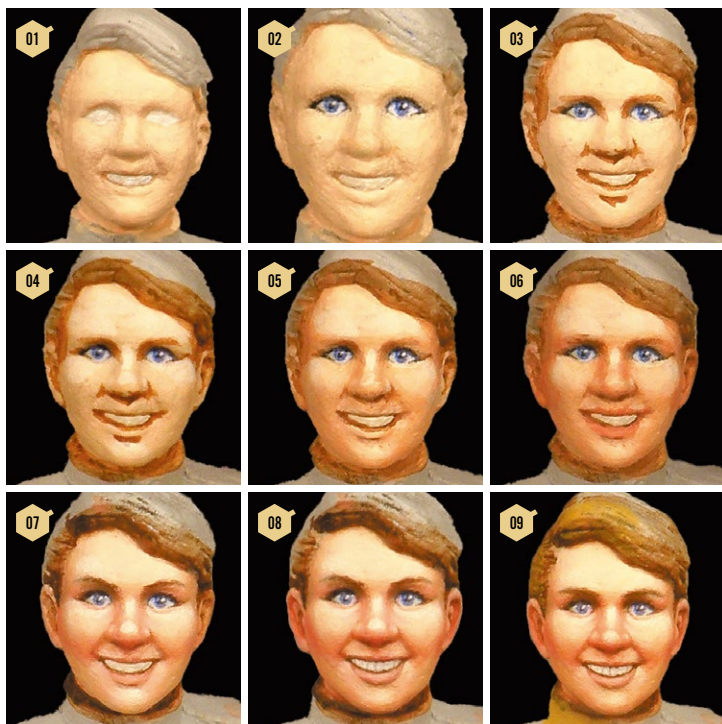
04戦車帽の顎止めベルトを、腰ベルトの下を通してぶら下げているようだが、キットのままでは説得力がないのでエポキシ系パテでディテールを追加した。

05ディテールアップ完成した正面。

06同じくディテールアップ完成の背面。トカレフのホルスターもディテールアップしている。

04 The helmet chin strap is shown hanging under the waist belt, but the kit lacks definition. Add detail with epoxy putty for a more convincing look.

05 Front view after detailing. **06** Rear view after detailing. The Tokarev holster is also refined.



01 今回は瞳に油絵具を使う以外はすべてファレホで塗装している。まずはベーシックスキントーンでベース色を塗る。ベース塗りなので混色せず、瓶生の塗料で厚めに塗る。目と歯はホワイトで塗る。

02 油絵具で目を描く。黒で輪郭を描き、スカイブルー+チタニウムホワイトで瞳、中心に黒で瞳孔を描く。その斜め上にチタニウムホワイトでキャッチライトを入れる。

03 バントアンバーで最暗部を塗る。04 ここからは水でうすく希釈した塗料を用いて、いわゆるレイヤー塗りで行って上げていく。ベーシックスキントーン+ホワイトで額、鼻筋、頬骨、顎の頭にハイライトを塗る。

05 ベーシックスキントーン+オレンジレッドで、ベース色と最暗色の中間を塗る。06 さらにやや赤に振った色(ベーシックスキントーン+オレンジレッド+カー

マイン)で鼻の周り、唇、頬、耳などを塗る。唇は赤やピンクなど口紅のような色で塗りがちだが、肌色+赤で塗り、さらに肌色をハイライト的に塗ると自然に仕上がる。

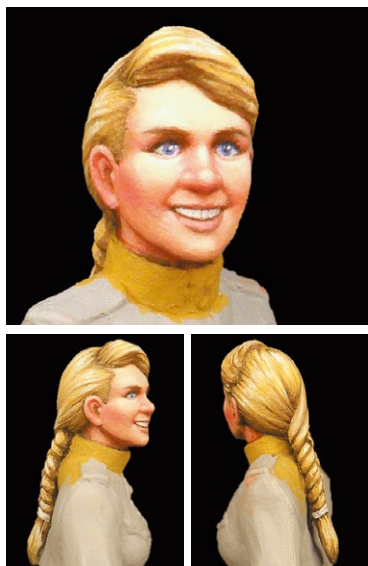
07 ベーシックスキントーン+カーマインで頬骨の下にチークを入れる。赤はカーマインのほか、バーミリオンやスカーレットなど色味の違う赤をそれぞれ使い分けることで、仕上がりの単調さを和らげることができる。

08 油絵具のチタニウムホワイトで歯を描く。

09 眉は、戦場でのリアリティを追うなら描かないという選択肢もあるだろう。しかし可愛らしく見せるには演出としてやはり描いたほうがいい。バントアンバーのみで描くと、いかにも眉曇りで描きましたという印象になってしまうので、髪色にも使うイエローオーカーで上から少しなぞっておく。

01 Painted mostly with Vallejo, except for the eyes in oils. Base coat with Basic Skin Tone straight from the bottle, applied slightly thick. Paint eyes and teeth in White. 02 Paint the eyes with oils. Outline in black, fill the iris with Sky Blue and Titanium White, add the pupil in black, and a small catchlight in Titanium White. 03 Apply Burnt Umber to the deepest shadows. 04 From here, use thin, water-diluted layers. Add highlights with Basic Skin Tone mixed with White on the forehead, nose, cheekbones, and chin. 05 Apply a mid-tone using Basic Skin Tone mixed with Orange Red. 06 Add warmer tones with Basic Skin Tone, Orange Red, and Carmine to the nose, lips, eyelids, and ears. For lips, use a skin tone mixed with red, then highlight again with skin tone for a natural look. 07 Add blush under the cheekbones with Basic Skin Tone and Carmine. Vary reds such as Vermilion or Scarlet to avoid a flat finish. 08 Paint the teeth with Titanium White in oils. 09 Eyebrows are optional for realism, but help enhance expression. Avoid a harsh look by painting with Burnt Umber and lightly softening with Yellow Ochre.

HAIR PAINT



▲髪を塗っていく。イエローオーカーにホワイトやバントアンバーを加えて明暗をつける。金髪が輝いているように見せるには、ハイライト色と最暗色を、グラデーションにとらわれずコントラスト強めに描くとよい。水で希釈したレイヤー塗りよりも、濃いめの塗料で髪の流れに沿ってハッキリ塗り分けると雰囲気が出る。

▲ Paint the hair. Use Yellow Ochre as the base, adding White and Burnt Umber for highlights and shadows. For a bright blonde look, push contrast rather than smooth gradients. Use slightly thicker paint and follow the hair flow for clearer definition.



ほぼ実寸大



□ BODY PAINT

01 服はゴールドブラウンにホワイトやバーントアンバーを加えた色で、まずはザックリと明暗を付けつつ塗り分ける。

02 明色と暗色の間に中間色を塗り、グラデーションを付けていく。フィギュアのやや前方上方に光源を見立てて陰影を付けるように塗っていく。全体に見ると胸元や肩先、前に振り出した右腕の下腕あたりがいちばん明るくなる。その次にベルト下の裾や左腕の外側、やや前に出した左膝辺りが中間で、後ろへ引いた左腕内側や右足を暗く塗る。そうすることでフィギュアのスケール以上の奥行き感を演出できる。

03 肩章の赤線をカーマインで塗る。ボタンは金ボタンをイメージして塗ってみた。ホワイト、フラットイエロー、バーントアンバーをグラデーションせず、階層のように塗り分けることで金属感を出している。

04 腰の戦車帽はオレンジレッドにバーントアンバーを混ぜた茶色をベースに塗る。さらにホワイトとフラットイエローを加えたもので明部を、バーントアンバーを多く混ぜた色で暗部を塗り分ける。

05 ホルスターとベルトは戦車帽と変化を付けるため、ダークバーミリアンにバーントアンバーを混ぜた赤茶色をベースに塗装。その赤茶色にフラットイエローとオレンジレッドを加えて明部を、バーントアンバー単色で暗部を塗り分け。こうした装備品の塗り分けでは、箱絵に印刷された装備品のイラストが参考になる。

06 バックル類の金属を塗る。ここでも金属色を使わず、ホワイトとブラックで調色したグレイをベースに塗装。さらにホワイトでハイライトを、ブラックで陰を、グラデーションなしで描き込んで金属感を出す。

07 ブーツはホワイトとブラックの混色で明暗を塗り分け。この後ツヤ消しクリアを吹くが、ツヤが強く消えているほど光を乱反射して白っぽくなってしまふ(またはツヤ消しの顔料が多く付着することで白っぽく見える)。今回はツヤ消しを吹いた後で、再度最暗部にのみブラックでスミ入れをして完成とした。

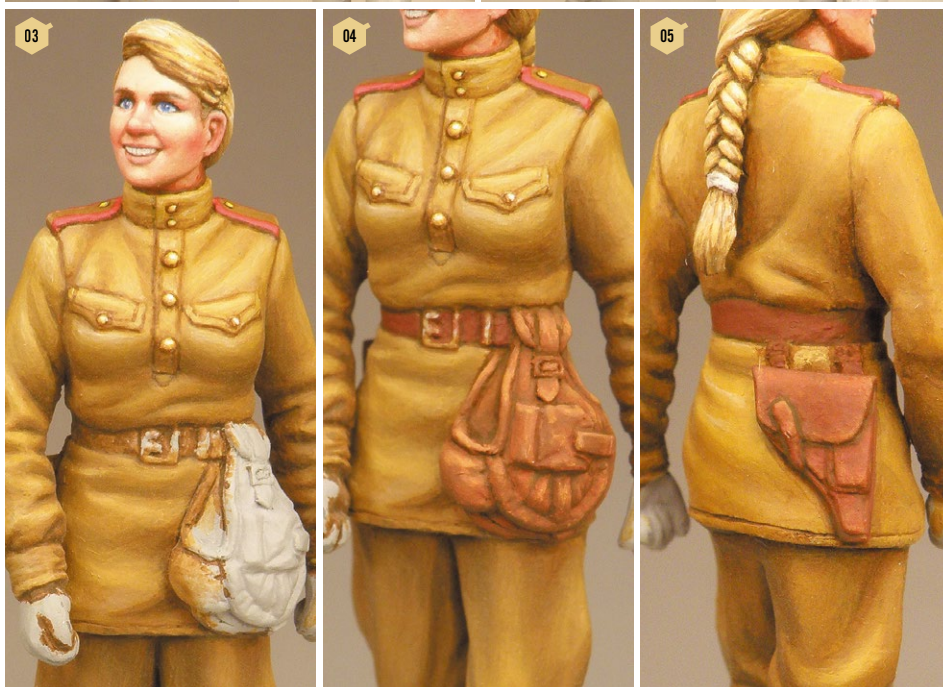
01 Paint the uniform using Gold Brown as the base, adding White and Burnt Umber to block in light and shadow.

02 Add mid-tones to build gradients. Place the light source slightly above and in front. Brightest areas are the chest, shoulders, and right forearm. Mid-tones fall on the lower coat, outer left arm, and left knee. Shadows are on the inner left arm and right leg, creating extra depth. **03** Paint the shoulder piping in Carmine. For buttons, suggest gold by layering White, Flat Yellow, and Burnt Umber without blending.

04 Paint the tanker cap at the waist with a base of Orange Red mixed with Burnt Umber. Add highlights with White and Flat Yellow, and deepen shadows with more Burnt Umber.

05 Paint the holster and belt in a red-brown mix of Dark Vermilion and Burnt Umber. Add highlights with Flat Yellow and Orange Red, and deepen shadows with Burnt Umber. Box art is a useful reference for equipment colors. **06** Paint metal parts without metallics. Use a grey mix of White and Black, then add White highlights and Black shadows without blending.

07 Paint the boots with a mix of White and Black for contrast. After a flat clear coat, restore depth with a pin wash in Black on the deepest areas, as heavy matte can appear chalky.



ISBN978-4-499-23449-8 C0076 ¥2900E

定価 (本体 2,900 円+税)



9784499234498



1920076029004

フィギュアモデリング
FIGURE MODELING

A^{TO}Z

